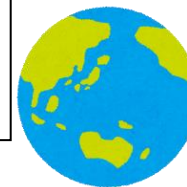


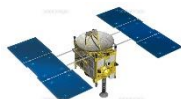
# 国際部通信 第4号

## Challenge

若者の特権は失敗できることです。多くの失敗や挫折に出会いながらも、その根底にある本当の自分の願いや生き方に目覚めることに大きな意義があります。  
失敗を恐れずチャレンジしていきましょう。 《メッセージ・題字 矢森健一校長》



あさか開成高校国際部 H30. 6. 13発行



6月13日は「はやぶさの日」です。

小惑星探査機「はやぶさ」は、2005年夏に小惑星イトカワに到達し、その表面を詳しく観測してサンプル採集を試みた後、2010年6月13日60億kmの旅を終え、地球に大気圏再突入しました。地球重力圏外にある天体の固体表面に着陸してのサンプルリターンに、世界で初めて成功し、科学的偉業を成し遂げました。

会津大学は「はやぶさプロジェクト」に参加しており、「はやぶさ」が撮影した画像から、「イトカワ」の形状、地表の凹凸などをコンピュータで詳細に再現し、サンプル採取に安全な地点に「はやぶさ」を導くことに貢献しました。

6月28日の国際理解講座(3学年)に、中心メンバーであった会津大学の出村裕英教授が来校し、「はやぶさ・はやぶさ2と会津大学」というタイトルで模擬授業を行っていただきます。どんなお話が聞けるのか楽しみです。

「はやぶさの日」は開発、運用に関わった人々の「あきらめない心」、「努力する心」を全国の方々に伝え続けていこうと設定されました。この「はやぶさ」のチャレンジングで感動的なストーリーは、4作品も映画化されています。時間のある人は、見比べてみてはいかがでしょうか？



AUS研修 プレゼン準備真っただ中



来月13日出発まで、1か月となり AUS 研修生も準備に余念がありません。現在は現地で行うプレゼンの準備に取りかかっています。4つのグループに分かれ「震災」・「AUS」・「あさか開成高校」・「日本文化」について発表する予定です。参加生徒のアイデアが生かされたプレゼンになりそうです。頑張ってください！



## 明日、「国際理解講演会」が行われます。

明日は、授業時間を変更し午後より「国際理解講演会」が行われます。タイトルは

「国連による『持続可能な開発目標 (SDGs)』から考える

LGBTってなんだろう？—互いの違いを受け入れあえる社会を目指して—」

です。講演者のReBitさんは大学生や20代の若者で活動をされているNPO法人です。LGBTを含めたすべての子どもたちが、ありのまま大人になれる社会を目指しています。ところで、最近話題になっている「同性婚」ですが、結婚のメリットは

- ①遺産の相続が可能。
  - ②特別養子縁組も認められる。
  - ③所得税や相続税の配偶者控除を受けることが認められる。
  - ④パートナーが危篤状態等になった場合には親族として面会が可能になる。
- などが考えられています。

他にもプライダル業界が活気づくなどの社会的・経済的効果や、何よりも同性婚が認められることで、「差別や偏見」・「人権」についての意識が高まる社会になるのではないかとされています。また、多様性を認めることで様々な人材が活躍できるようになり、生産性や競争力のアップにもつながるという意見もあります。しかし一方では、従来の家族の形が崩れるなど法律を制定することに対する慎重論もあります。この講演をきっかけに「多様性のある社会」や「公平な社会」について考えてみましょう。



2018年(平成30年)現在、日本国内において同性結婚は法的に認められていません。憲法第24条に「結婚については『両性の合意』とあります。一方で、パートナーシップ法(シビル・ユニオン)で、夫婦と同一の権限を認める法律を制定し、家族として籍の登録を認めることが同性婚の代替として提案されています。しかし今のところは、「同性パートナーシップ宣誓書」を提出した同性カップルに対し、さまざまなサービスが受けられるよう各自治体での取り組みが行われています。(渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市、福岡市)

## 研修に参加してきました

5月26日(土)に郡山市「水源地バスツアー」に2年生2名、3年生3名が参加してきました。お天気にも恵まれ、総勢100名以上の参加者が郡山市の水源地である猪苗代湖畔の清掃をしました。昼食後、堀口浄水場の施設も見学し、美味しい水をいただきました。「水のありがたさ」について更に理解を深めることができました。今後の「水プロジェクト」にいかしたいと思います。



## 国際部からのプチ進路相談 ～国際関係が学べる学部って?～



**国際関係の学部といっても色々あります。特に最近は学部・学科も多様化し名前を聞いただけでは???という学部・学科もあたり区別が難しかったり…。今回取り上げるのは……**

### ●東海大学 教養学部 国際学科 (昨年度実績あり)

(以下 HP より)

学びの分野としては

#### ①地球規模の問題を理解する

国際協力活動や留学などで海外在住経験の豊かな教員と、外国人教員が、今、世界で起きていることをリアルタイムで解き起こします。「人種・民族・エスニシティ」や「世界文化遺産」「グローバル・キャリア形成」など科目も2015年よりスタートしました。少人数のゼミナール形式の授業を設け近しい関係のなかで密度の濃いディスカッションを繰り返すことで、学生が自分自身の興味関心を発見していくことを大切にしています。

#### ②高いコミュニケーション力を育てる

ネイティブの先生から英語のシャワーを浴びて、日本人の先生のきめの細かいサポートを受けながら少人数のクラスで英語を学びます。その他スペイン語、露語、仏語、独語、伊語、中国語、韓国語、タイ語、インドネシア語から選んで学ぶことができます。また、ディスカッションやプレゼンテーション形式の授業を重視しています。

#### ③フットワークの軽さと行動力・実行力を養う。

毎年、多くの学生が世界中の国々に留学し、短期・長期での海外インターンシップやボランティア活動に参加する学生もいます。学科として多様なスタディツアーや英語研修の海外プログラムを用意するほか、外国から来た子どもたちとの交流や、留学生と一緒に企画・運営する「国際フェア」など、日本いながらにして国際的な体験を積む機会もたくさんあります。

語学だけではなく、時事問題や国際事情も学べるようです(池上彰さんの番組のような)。また、少人数のゼミ形式の授業のため、学生主体の学びが多いのではないのでしょうか。卒業後の進路を調べてみると、外国の大学院への進学や、航空関連企業、国際支援団体への就職もあるようです。カリキュラムも多様です。東海大学には他にも、歴史・言語・文学の視点から学ぶ「文学部」と文化の視点から社会を学ぶ「文化社会学部」があります。自分が何を学びたいかを理解したうえで、学部選択を行ってください。興味か持てた人は、夏休みにオープンキャンパスがありますので、HPでチェックしてください。予約が必要な大学もあります、早めのチェックを!

